

1 このページのレイアウトはできるだけ変更しないでください

No.とプログラム名	No.21 「広報お仕事体験「選手紹介をつくってみよう」」
実施日・回数	8月7日（水）12:30～14:00・14:30～16:00計2回実施
会場	【港北区】岩崎学園 スポーツ&ウェルネス専門学校 教室
参加児童数	30人
企業・団体等名	横浜GRITS
参加の目的 (150文字程度)	<ul style="list-style-type: none">・スポーツチームとしての地域貢献・新たなファン層の獲得に向けた関心喚起・港北区を中心とする地域の子どもたちに横浜GRITSを知ってもらうため

プログラム内容

子ども
アドベンチャー
カレッジ
2024

“横浜GRITSの選手を他己紹介してみよう！”

スポーツチームにおける広報業務を体験してもらうことを目的に選手の魅力を他己紹介の形式で発信するワークショップを実施いたしました。

90分間のワークショップでは、クラブスタッフの仕事、広報の仕事を紹介した後、グループワークとして選手へのヒアリング実施、アウトプットとしては紹介シートの作成を行いました。

選手へのヒアリングでは質問も活発に飛び交い、子どもたちならではの目線での問いなど、クラブスタッフとしても新たな気づきを数多く得ることの出来た時間となりました。

1

広報の仕事紹介

チーム広報が取り組む仕事の紹介、大切にしている考え方をお伝えしました。



2

選手への質問

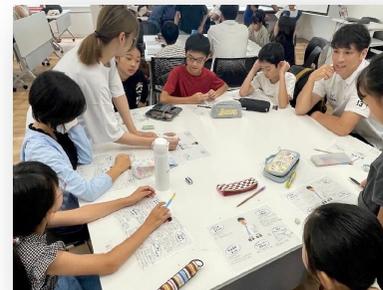
選手を他己紹介するにあたって必要な情報収集として様々な質問を実施しました。



3

まとめ作業

ワークシートにグループでの質問を整理し、他己紹介シートを作成しました。



4

発表

グループごとに担当選手の他己紹介を実施いたしました。



参加者の声



90分間のワークショップに終始前向きに参加して下さったおかげで、AM/PMともに明るい雰囲気の中で終えることができました。実際に試合を観戦したことがない方が大半でしたが、リンクに足を運んでみたいという声をたくさんいただくことができ、大変嬉しく思います。

全体への感想

- 選手の人たちがとても優しく答えてくれたので緊張せずに参加できた。
- 自分のワークシートが試合会場で張り出されるのがとても楽しみ。
- 質問が他の人と被った時に、すぐに次の質問を考えるのが大変だった。
- 初めて会った人と一緒に作業するのが楽しかった。



広報への関心

- 人に伝える仕事の難しさを知ることができた
- 競技以外の魅力を伝えるための工夫が大変だった

競技への関心

- アイスホッケーを実際に見てみたいと思った
- 選手が真剣な表情でプレーしている姿にも興味が湧いた

活動を終えて



ユニークで、斬新な視点

子どもならではの視点からユニークかつ斬新な切り口で質問が飛び交いました。日々、チームに携わるスタッフが見ている角度とは異なり、新たなファン獲得に向けた認知拡大に向けて多くの気づきがある時間でした。参加した選手たちもプロスポーツ選手にとって重要な要素の一つであるセルフブランディングの観点から、学びを受けていた様子でした。

学生サポーターとの活動を通じて

学生サポーターは、スポーツ界のこれからをともに盛り上げていく未来の仲間であると考えています。今回のワークショップでは子どもたちとのコミュニケーション、スポーツプロモーション領域など、それぞれ得意領域を持った学生サポーターが力を貸してくれました。作業も多い90分間でしたが、滞りなく進行できたのは学生サポーターの皆さんの存在が大きかったです。また新しいステージでお会いできることが楽しみです。

ご参加いただきました皆様、誠にありがとうございました。